



2024年1月7日  
1月第一主日礼拝式／聖餐式

# 「主に向かって喜び歌おう」

(詩篇95:1-3)

主に向かって喜び歌おう

われらの救いの岩に

感謝の歌で み前にすすみ

さんびをもって 主に喜ぼう

主は大いなる神 すべてにまさって

主は大いなる神 大いなる王

142 主の愛はとこしえまで

主の愛はとこしえまで

その恵みは尽きず

朝ごとにくる 新しい

あなたのまことは 力強い

新聖歌 2番 「たたえよ救い主イエスを」

- 1 たたえよ救い主イエスを くすしき愛をば宣(の)べ  
あがめよ み使いとともに とうとき主の御名をば  
か弱き われら羊を 飼い主イエスはいだく  
  
\* たたえよ たぐいなきみいつ たたえよ 声も高く
- 2 たたえよ 人の罪ゆえに 十字架につきしきみを  
きみこそ とこしえの岩よ 変わらぬ わが望みよ  
心のやまいことごと いやされ やすき受けぬ (\* )
- 3 たたえよ栄えあるイエスを 御国の かどゆるがせ  
ときわに すべたもうイエスに かむりをささげまつり  
まもなくイエスは来たりて あまねく地をばおさめん  
(\* )

アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌46番 「わが主よ 今ここにて」

- 1 わが主よ 今ここにて 親しく見<sup>(まみ)</sup>えまつり  
限りなき幸いを 受くるこそ うれしけれ
- 2 恵みの足<sup>(た)</sup>れる時よ いのちの充<sup>(み)</sup>てるおりよ  
今しばし 留<sup>(とど)</sup>まれや 主と共に われ過ごさん
- 3 ここには贖<sup>(あがな)</sup>いあり ここには慰めあり  
わが汚れ きよめられ み力は満ちあふる
- 4 面影<sup>(おもかげ)</sup>うつししのぶ 今日だに かくもあるを  
みくににて祝う日の その幸<sup>(さち)</sup>や いかにあらん  
アーメン

新聖歌353番 「主イエスは救いを」

- 1 主イエスは救いを 求むるこの身に  
豊けき恵みを 注がせたまえり  
\*いよいよわが主を 愛せしめたまえ
- 2 ひさしく背(そむ)きし この身を見捨てず  
すべてを赦して あわれみたまえり 【\*くりかえし】
- 3 御恵み受くべき 功績(いさおし)無き身を  
かくまで恵みて 救わせたまえり 【\*くりかえし】
- 4 この身と魂(たま)とを ことごとささげて  
とうとき御名をば ひたすらほめつつ【\*くりかえし】

アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン